


# 貸出文庫を中心とした主な動き

## (昭和20年～昭和50年)

昭和20年11月	開館
昭和21年12月	閲覧料徴収（図書購入にあてるための非常手段） 貸出10日1冊1円、貸出文庫1か月1冊1円
昭和24年5月	ジープ型配本車を導入し、県内を4ブロックに分けて、3か月1回の自動車配本開始。自動車による配本は、全国に先駆けて開始。
昭和25年	県立図書館を地方へ移すため、移動図書館が設置される。1単位1,000冊。
昭和27年7月	普通文庫、移動図書館について、農業文庫を設置。固定式文庫20を作成し、貸出開始。
昭和27年8月	県図書館協会結成
昭和29年6月	県広報車を改造し、配本車とする。書架2,000冊積載。「すばる」と命名。
	
昭和30年6月	「すばる」第2号購入。2,800冊積載。
昭和31年12月	県図協、公共図書館評価基準作成。
昭和32年1月	読書組織化運動開始。
昭和32年2月	農業文庫推進委員会発足。
昭和32年6月	農業文庫第1回発送。
昭和35年5月	親子20分読書運動開始
昭和35年8月	親子20分読書研究会
昭和41年	「すばる号」更新
昭和50年7月	「すばる号」更新
令和4年9月	「すばる号」更新（現在のすばる号）



先代の「すばる号」



現在の「すばる号」